

第6回国際ユニヴァーサルデザイン会議 2016 開催趣意書（案）

2015年10月1日

一般財団法人国際ユニヴァーサルデザイン協議会（IAUD：総裁 瑤子女王殿下）は、2016年秋、愛知県名古屋市において「第6回国際ユニヴァーサルデザイン会議」を開催いたします。

ユニヴァーサルデザイン（UD）とは、民族、文化、慣習、国籍、性別、年齢、能力の違いにかかわらず、できる限り多くの人々に利用可能なように最初から意図して、機器、建築、身の回りの生活環境などをデザインすることです。

2002年11月に横浜で開催した我が国初の国際UD会議は大成功を収め、その最後を飾る「国際ユニヴァーサルデザイン宣言」では、一人一人の人間性を尊重した社会環境づくりをUDと呼び、使い手と作り手の関係を再構築することで、社会のすべての面に適用されるべき人間中心のしくみ作りを急ぐことが重要と提言されました。そして、その提言はそのまま1年後に設立されたIAUDの設立趣旨となっています。

昨年、東京都で開催した第5回目の国際UD会議では「ユニヴァーサルデザインのグローバル展開～東京2020オリンピック・パラリンピックへ向けて～」のテーマを掲げ、高齢者、障害者、子供や妊産婦、あるいは言葉や生活習慣の異なる外国人観光客などを含めた多様な人々にとって、安全で暮らしやすい都市基盤を整備していくことの重要性について話し合いました。開会式では安倍首相から、「競技施設はもとより、道路や駅など、すべての施設をユニヴァーサルデザイン化することにより、世界中のあらゆる方々に、オリンピック・パラリンピックを楽しんでいただき、日本は便利で暮らしやすい国だな、とだけ思っただけのような大会にしたい。」とのビデオ・メッセージを頂戴しました。また、7月にオリンピック担当相に就任した遠藤大臣は東京オリンピック・パラリンピックのレガシーとして「ユニヴァーサルデザイン社会」を残す、と明言しています。レガシーは東京だけでなく、地方都市を含む全国津々浦々に共有価値として享受されなくてはなりません。

現在、名古屋市を中心とする半径約100kmの地域は「グレーター・ナゴヤ（大名古屋経済圏）」と呼ばれ、世界から優れた企業・技術・人・情報を集め、行政と産業界、大学などが一体となり活発な国際交流を促進する活動が進められています。また、中部運輸局や中部広域観光推進協議会が中心となり、中部北陸9県の自治体、観光関係団体、観光事業者等と協働して中部北陸圏の知名度向上を図り、海外からの観光客誘致を推進するため、「昇龍道プロジェクト」と呼ばれる活動を推進しています。

第6回目となる今回の会議では、「ユニヴァーサルデザインによる共有価値の創造（案）」とのテーマを掲げ、製造業の集積地帯である中部圏域における新たな産業クラスターの創造や、地震などの大規模自然災害にも強い都市基盤整備に向け、国内外の参加者の活発な意見交換と相互交流を通して、自発的かつ持続的な行動を促しながら、地域再生や観光産業の育成も視野に入れた、より質の高いUD社会の実現をめざします。

ぜひ、これらの趣旨をご理解賜り、さまざまな立場の方々の幅広いご支援とご協力、そして積極的なご参加を切にお願いいたします。

■開催概要（案）

2015. 10. 26

名称（予定）：第6回国際ユニヴァーサルデザイン会議 2016 in 名古屋 & 愛知
(The 6th International Conference for Universal Design 2016 in Nagoya & Aichi)

開催日程（予定）：

開会式／公開シンポジウム 2016年12月9日（金）
本会議（全体会議・分科会・展示会他） 2016年12月9日（金）～11日（日）
* 想定参加者数（初日 5,000名、延べ 15,000名）
* 想定参加国数（約 30カ国）

開催場所（予定）：名古屋国際会議場、ほか

主催：（財）国際ユニヴァーサルデザイン協議会

共催（予定）：愛知県、名古屋市、豊田市、日進市、ほか

協力（予定）：人間中心デザイン研究所（米国）、王立芸術大学院ヘレンハムリン研究所（英国）、デザインフォーオール財団（スペイン）、iFユニヴァーサルデザイン & サービス GmbH（ドイツ）、中部デザイン団体協議会、愛知県立大学、名古屋市立大学、名古屋学芸大学、名古屋芸術大学ほか

協賛（予定）：

NEC、積水ハウス株式会社、株式会社岡村製作所、コクヨ株式会社、東京電力株式会社、トヨタ自動車株式会社、トヨタ紡織株式会社、富士通株式会社、富士ゼロックス株式会社、本田技研工業株式会社、株式会社リコー、花王株式会社、株式会社東芝、TOTO株式会社、日産自動車株式会社、株式会社日本航空、パナソニック株式会社、東海旅客鉄道株式会社、株式会社日立製作所、日野自動車株式会社、三菱電機株式会社、ヤマハ発動機株式会社、株式会社LIXIL、ほか

後援（予定）：

内閣府、総務省、法務省、外務省、財務省、文部科学省、厚生労働省、農林水産省、経済産業省、国土交通省、環境省、防衛省、国家公安委員会（警察庁）、海上保安庁、消防庁、観光庁、国際連合、アメリカ合衆国大使館、ブリティッシュ・カウンシル、（国研）産業技術総合研究所、（独）日本貿易振興機構、日本学術会議、愛知県商工会議所連合会、名古屋商工会議所、ほか（社）共同通信社、（株）共同通信社、産経新聞社、中日新聞社、日刊建設産業新聞社、日刊工業新聞社、日本経済新聞社、毎日新聞社、デザイン誌「AXIS」、日経BP社、NHK、中京テレビ放送、中部日本放送、東海テレビ、名古屋テレビ、テレビ愛知、ほか
（公社）土木学会、（社）日本建築学会、（社）日本人間工学会、（社）日本福祉のまちづくり学会、（社）日本ロボット学会、（NPO）ヒューマンインタフェース学会、基礎デザイン学会、日本感性工学会、日本デザイン学会、（公財）共用品推進機構、（公財）交通エコロジー・モビリティ財団、（公財）日本デザイン振興会、（公社）日本インダストリアルデザイナー協会、（公社）日本インテリアデザイナー協会、（公社）日本グラフィックデザイナー協会、（公社）日本クラフトデザイン協会、（公社）日本サインデザイン協会、（公社）日本ジュエリーデザイナー協会、（公社）日本パッケージデザイン協会、（社）日本空間デザイン協会、（NPO）ユニバーサルファッション協会、ほか

■会議テーマ及び主要イベント（案）

2015. 10. 26

会議テーマ『ユニヴァーサルデザインによる共有価値の創造（案）』

開催期日：2016年12月9日（金）～11日（日）

開催場所：名古屋国際会議場、ほか

サブテーマ

1. 観光のユニヴァーサルデザイン
安倍首相は2020年の東京オリンピック・パラリンピックまでに海外からの観光客を2000万人に倍増させると発表した。東京に集まる訪日海外観光客を中部圏にも積極的に呼び込むための仕組みづくりにもUDの考え方が必要とされている。
2. 産業振興におけるユニヴァーサルデザイン
日本においては大企業を中心にUDの考え方が一通り浸透したといえる。今後は、産業の裾野を広げるため、中小企業、及び大学その他の非営利組織などへも働きかけ、中部圏の新たな産業クラスターの集積に向け、更なる普及展開に努める。
3. 非常時のユニヴァーサルデザイン
想定される南海・東南海地震ほか自然災害、テロによるインフラ基盤及び都市生活機能への脅威、その他、火事や停電等の事故に対する非常時、緊急時の対応をUDの視点から再検討する。

主要イベント内容（案）

1. 公開シンポジウム（12月9日）
記念講演、海外招聘講師による基調講演、及び国内外の招聘講師によるパネルディスカッション等で構成される。
2. 展示会（12月9日～11日）
全160小間の内、約2/3を国内の企業及び団体向けの出展に割り当てる。また、海外団体や地元団体にも小間を割り当て、活動内容の展示等に活用する。
3. 公開セミナー／ワークショップ（12月9日～11日）
県民・市民向け公開講座として一般の方々にも親しみやすいプログラムを企画実施する。
4. 48時間デザインマラソン（12月11日発表）
今回は主に中小企業から参加者を募り2日間実施する。その成果を国際会議の場でプレゼンテーションする。優秀なチームを表彰し賞を授与する。
5. IAUDアワード2016（12月9日発表）
事前に公募、審査をおこなった結果を国際会議のハイライトの一つとして、国際会議の場で表彰し賞を授与する。
6. 論文発表セッション（12月10日～11日）
事前に募集し、厳正な審査を通過した論文をテーマやジャンルごとに分けて発表するセッション。優秀論文を最終日に表彰する。